

令和7年7月25日

まちづくり委員会資料

生田緑地ばら苑管理運営整備方針の
検討状況について

建設緑政局

生田緑地ばら苑管理運営整備方針の検討状況について

5. 一体的整備の取組の方向性

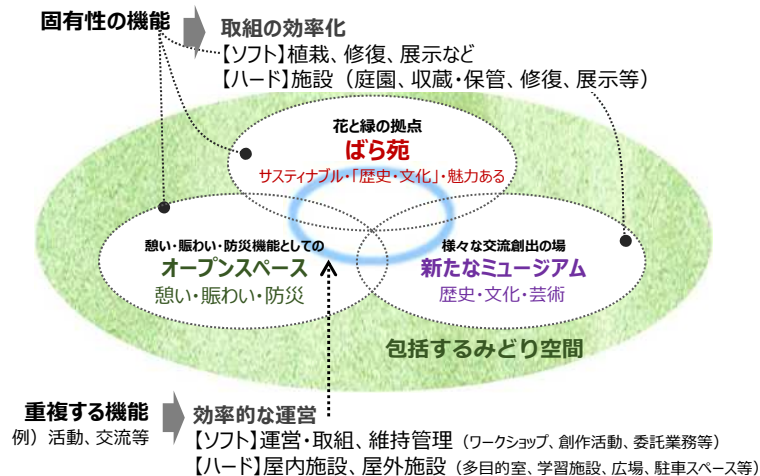
現地の現状・課題、拠点整備の配慮事項やオープンハウス型説明会における市民意見なども参考に、一体的整備の取組の方向性及びエリア整備の考え方を次のとおり整理しました。

再整備エリアの特性（地形、樹林、日照など）を考慮しつつ、再整備エリアにおいて3つの拠点の機能を発現させるなど、市民サービスの向上やエリアの魅力の最大化に向けて、一体的に取り組むことにより、効果的・効率的な整備と機能の早期実現を図る。

【エリア整備の考え方】

豊かな自然や文化・芸術に包まれた、「憩い・賑わい・交流」
様々な人々をつなげる場を創出します。

地域の魅力向上を目的に、ばら苑、新たなミュージアムとの連携を重視し、動線・景観・機能面での相乗効果を意識した整備・配置を推進します。また、重複する機能については、隣接施設と協力して管理・運営を行い、施設の効率的な運営を図ります。



【共通の考え方】

1. 周辺景観との調和のとれたデザイン整備

案内板などのデザインを統一や自然素材や地域特有の素材を用いるなど、視覚的な調和を実現し、建物の緑化や、自然の特徴を生かした外構を整備する。

2. 環境保全と持続可能性の検討

環境に優しい設計を採用し、再生可能エネルギーやグリーンインフラ施設を導入。

3. 植生を考慮した植栽選定や生物多様性への配慮

生田緑地の植生や生物多様性に配慮した植栽計画を行い、生物多様性の普及啓発を目的とした表示を行うなど、関心を高めるための工夫を検討する。



案内板デザインの共通化



自然素材や県内産材の活用



壁面緑化



レインガーデン

【重複する機能の考え方】

1. 施設間のエリアの活用

施設間は、互いの価値を高める機能空間として、オープンスペースを整備し、地域住民や来訪者の交流促進や賑わい創出を図れる場所を整備する。

2. アクセスと動線の整備の検討

施設へのスムーズなアクセスを目指し、歩道や車両・駐輪等の共有や、施設間のバリアフリー設計を導入し、すべての人が快適に利用できるよう整備を行う。

3. 共通施設・サービスの設置の検討

休憩所や案内施設を共通で設置し、施設間の情報提供やサービスを一元化。トイレや飲食施設も共通化して利便性を向上。

4. 共通管理システムの導入の検討

施設間で共通の管理システムを導入し、維持管理やデータの一元化を行い、効率的な運営を実現。



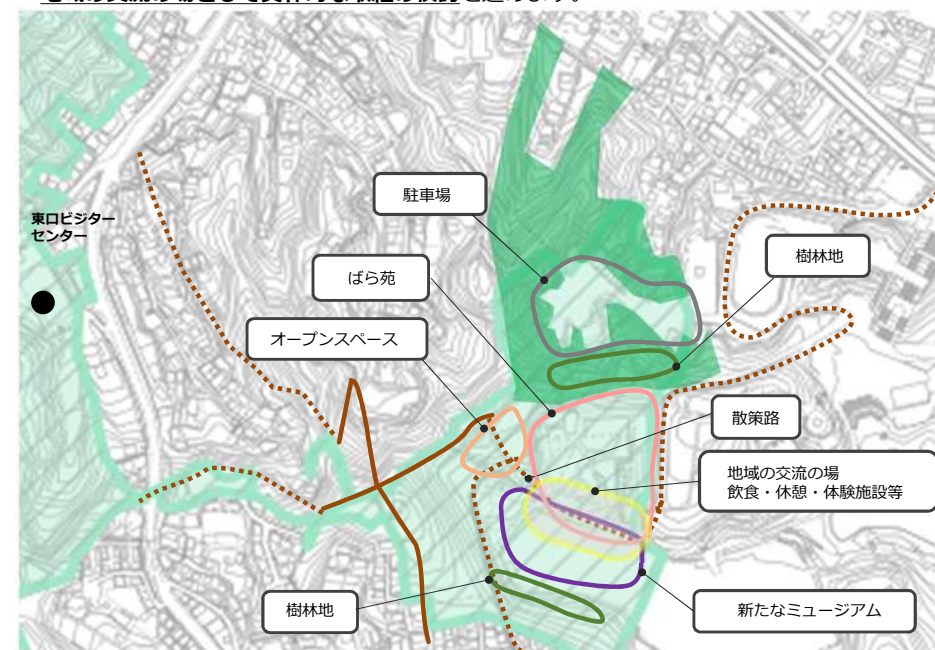
交流促進の場



効率的な維持管理

6. 整備エリアの動線・機能

ばら苑と新たなミュージアムについては、両施設が連携し相互補完できるよう、敷地の効率的な利用を図るとともに、来苑者にとって分かりやすく快適な動線計画および機能配置とすることを検討します。また、ばら苑とミュージアム間のエリアは、地域の交流の場として具体的な取組の検討を進めます。



生田緑地ばら苑管理運営整備方針の検討状況について

7. 展示の考え方

新たなばら苑では、**バラを中心に、多様な植物や宿根草との組み合わせ、立体的な植栽**による変化に富んだ空間を構成し、**旧ばら苑の意匠を継承したゾーンやオブジェと植栽を組み合わせた写真映えるゾーンなど複数のエリアでの構成**やミュージアムとの連続性を意識した**アートの導入**などを検討します。

また、季節ごとの装飾やイベントを通じて**年間を通じて楽しめる場**とし、飲食や物販での季節限定メニューやコンセプトに合わせた展開を行うことで、**何度も訪れたいくなる魅力的な空間を創出**します。



テーマ性のあるコーナー
ローザンバリー多和田



自然の中で楽しむアート
横浜市こどもの国

8. バラのコレクションプランの考え方

開園当初より、収集し、育ててきたバラのコレクションは、**当苑の歴史を象徴するものとして選別した上で継承**するとともに、**耐病性の強いバラを導入する等、維持管理のしやすいばら苑に向けた品種の整理**を行います。

当苑のバラは、モダンローズ712品種、オールドローズ80品種、野生種13品種が植えられており、805品種3,296株を保有し、特に品種数の多さを誇ります。**品種数を目的に来苑されることも多いことから、約800品種の保有を目標としてのこすバラ・導入するバラ**について整理します。

■ 整理の考え方

● のこすバラ

- ・ 市場に出回っていない貴重な品種をのこす。
- ・ 貴重種以外の品種ののこし方
 - ① **ロイヤルコーナーの品種のうち生育状態が良い品種・株**
 - ② **他園等から譲渡・寄贈された品種・株**
 - ③ **生田緑地ばら苑の歴史を象徴する品種・株**
 - ④ **バラの歴史を象徴する品種・株**

● 新規導入するバラ

- ・ サービス向上・管理性向上のため新規品種の導入を検討
 - ① **新しいばら苑の庭園コンセプトに合った品種**
 - ② **耐病性の高い品種**



戦前に作出されたハイブリッド・ティー系品種コレクションの例

① 希少品種（市場に出回っていない）	移植または接ぎ木
② 貴重な「株」（寄贈株など株に価値があるもの）	移植（高リスクであれば接ぎ木）
③ 殿堂入りバラなど含む著名な品種（市場にあり）	処分・新規購入
④ 耐病性の高い新品種	新規購入

品種・株の継承イメージ図

■ 工事期間中の育成について

移植や接ぎ木の対象となるバラの株については、作業後（堀り上げや接ぎ木）は**園場での育成・養生を行います**。これらの株を育てる園場としては、ばら苑内やその他公共施設などを想定しています。なお、**育成環境や管理方法については十分に配慮し、適切な場所ですらに管理を行います**。

9. 地域の交流の場に設置する施設の考え方

高台の立地や遊園跡地の開発動向を踏まえ、ばら苑・ミュージアム利用者が**気軽に立ち寄れる小規模な飲食スペース**や**夏場の暑熱緩和を考慮した日陰空間の整備**と共に休憩スペースやワークショップなどの**体験空間にも使える柔軟な休憩スペース**の検討を行います。

また、西側オープンスペースについては、芝生広場などピクニックなどの利用ができ、**休日にはマルシェ等のイベント等にも活用できる広々とした空間として検討します**。



休憩施設イメージ



芝生広場イメージ

10. 管理運営の考え方

現在のばら苑は、バラの**開花時期に限定した開苑**であり、市民への還元が十分に行われておらず、**動線の確保と共に年間を通じて市民や来園者に開かれた魅力的な空間を提供することが課題**です。また、隣接地にミュージアムが整備されることで、安定的な集客が生まれ、**通年の来訪者増加が見込まれます**。この整備を契機に、**ばら苑の持続的な運営に向けた新たな運営手法の導入を検討**を行います。

新たな運営手法の検討の視点

- ・ ばら苑の**通年開放に向けた運営体制**
- ・ 持続的に魅力的なサービスを提供できる**利用料金制の導入**
- ・ ばら苑と新たなミュージアムの**包括的な管理（指定管理等）**
- ・ 東地区全体の魅力アップに向けた（樹林地、遊歩道等）**一体的管理**

11. 利用料金制の導入について

持続的なばら苑の運営を目指し、新品種導入やイベント開催に必要な経費を賄い、常に魅力的な施設として持続的な運営を確保するため、**他都市のばら苑等の現状の把握や今後の事業者ヒアリング**などを参考に、**利用料金の導入を検討**します。



横浜イングリッシュガーデン(出典:公式HP)



いばらきフラワーパーク



横浜イングリッシュガーデン(出典:公式HP)

検討例：利用料金変動制、年齢等の利用区分
無料・有料エリアの区分設定、市民割引等

1 2. 今後の市民協働の考え方

新たなばら苑では、バラの専門家による管理を基本としつつ、市民協働のレガシーを受け継ぐための仕組みづくりを行います。従来の「生田緑地ばら苑」における市民ボランティアの取組を引き継ぎつつ、ボランティアの技術や希望に応じた参加ができる柔軟な体制を整備します。

●講座・研修の開催

ボランティアをはじめ一般公園利用者等の幅広い層が参加できるような専門講師等を招いた講座を定期的に開催し、技術向上したい方がステップアップでき、初心者でもより気軽に参加できる等の仕組みづくりを行います。

●「レガシーガーデン」の設置

市民協働の象徴として、**ボランティアが主体的に行うエリアを設置し、生田緑地を訪れる一般利用者にも広く公開**します。

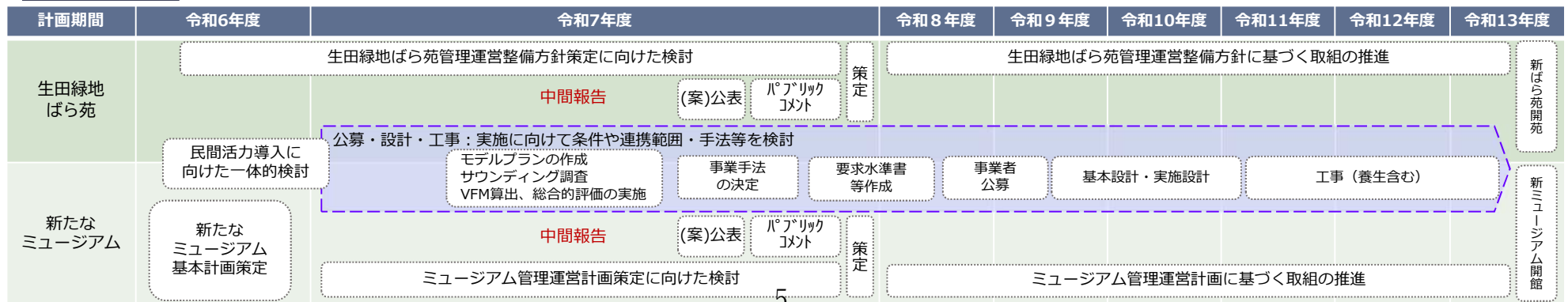
●作業内容・作業エリアの明確化と限定

専門家の指導のもと、**ボランティアの作業内容や範囲を整理し、適切な安全管理と品質維持を図ります**。

他バラ園のボランティアの関わり

バラ園		生田緑地ばら苑	大船フラワーセンターバラ園	東沢バラ公園	新宿御苑内整形式庭園	横浜イングリッシュガーデン	神代植物公園バラ園
維持管理作業	除草	○	○	○	○	○	×
	石・花びら拾い	○	○	○	○	○	×
	花殻取り	○	○	×	○	○	×
	剪定	○	×	×	○	×	×
	薬剤散布	×	×	×	○	×	×
他	ガイドツアー実施	○	×	×	○	×	○
登録制度	要資格プログラム修了	×	×	×	○	×	○
	年会費	×	×	×	×	○	○
サービス	講習会等	○	—	○	—	—	○
	特典	—	—	—	—	○	—
類似事例		・佐倉草ぶえの丘バラ園 ・ながおか香りのバラ園	・海の中道海浜公園内バラ園	・光綾公園内あやせローズガーデン ・練馬区立四季の香ローズガーデン			・旧古河庭園バラ園

1 7. スケジュール ※想定スケジュール



1 3. 現在の民間活力導入に向けた検討状況

具体的な事業手法の決定に向けて、本事業の性質の整理、モデルプランの更新と共に、①新たなミュージアムとの連携、②施設配置、③参画障壁、参画条件、リスク分担、④詳細な事業費等についての検討を行い、**他都市事例の調査やプレヒアリング調査等を活用しながら検討を進めています**。



1 4. 想定する事業体制イメージ

現在、ばら苑の業務は公益財団法人川崎市公園緑地協会が委託を受けて担っていますが、**再整備後に目指す特色のあるばら苑の実現に向けては**、新設されるミュージアムとの連携により、地域コミュニティとしての機能が広がる可能性があるため、**現行の業務に加え、新たな機能や役割の追加・強化が必要**です。

ばら苑の配置体制イメージ



ミュージアムとの統括管理・調整（新規）

1 5. 想定する事業範囲イメージ

再整備後の苑内管理やボランティアとの連携調整、オープンスペースの有効活用等を含め、**地域の公共性を十分に担保することを念頭に置き**、単なる営利目的に偏らず、**民間事業者へ委ねる範囲について検討**を行います。



民間事業者が関与する分野と、市が関与する分野について検討をしております。

1 6. 閉苑中の維持管理、市民協働

向ヶ丘遊園跡地の工事開始後、ボランティアの通行で利用している道路は、**安全上の理由から利用不可となることから、工事の開始をもって閉苑**となります。また、再整備に向け、バラの専門業者による移植の作業等へと移行することから、**ボランティア活動は休止とし、再整備が完了する際に、新たな活動に向けて参加を募る**ことを検討しています。また、再整備後のボランティア活動が円滑にスタートできるよう、**再整備中の進捗の報告や代替場所・学びの場の創出**などの継続した環境づくりを行いながら進めます。